

令和3年12月16日(木)

校長 多々納 雄二

全国大会出場壮行式 激励の言葉

・全国大会への出場権を獲得した、弓道部、山岳部、囲碁・将棋部、ESS部の皆さん、おめでとうございます。県大会等を勝ち抜いての荣誉であり、島根の高校生の代表として、また出雲高校生としての誇りを持って、堂々とプレーしてきてください。本番での悔いのない活躍を祈っています。

・最近、強く思うのは、「気」の大切さです。「気合い」の「気」です。

一人一人が気を確認に持って元気よく過ごしていけば、集団は活気づきます。

「元気があれば何でもできる」、アントニオ猪木の言葉。

部活動や大会でも同様で、各自が元気に、本気になって、勇気を出して挑んでいけば、きっと道は開けます。

「気」に関係するものに「心」があります。「心意気」というくらい、親和性が高いものです。知っての通り、本校では、久徴の伝統精神として「至誠」を大切にしています。おそらく皆さんも、日々活動できること、それを支えてくれる家族や関係者の存在に思いを馳せ、この「このうえない誠実さ」という心を大切に努力したからこそ、全国大会出場を成し遂げたのでしょう。全国の舞台でも感謝を忘れずに「至誠」を貫いて結果に結びつけてください。

全国大会では、いわゆる「凄い」人達に出会うことでしょう。太刀打ちできるだろうかと、たじろぐこともあるかもしれませんが。そんなときは、弱気にならずに、まずは自分の「気」のありかを探し、強い気持ちと呼び覚ましましょう。「気」の裏付けとなるのは、積み重ねてきた努力の記憶と仲間達や支えてくれた家族の存在です。それらを信じて、臆することなく精一杯のパフォーマンスを発揮してきてください。

・コロナ感染症は、世界で変異株が発生・拡大するなど、まだまだ予断を許しません。英語ディベート大会はオンライン開催とのこと。マスク着用、手指消毒などの基本的な予防対策にしっかりと取り組むことで、大会が無事行われるように、まずは自分たちから率先して、感染症から我が身を、また活動を守り抜いてください。

・結びに、会場には行けませんが、どこにいても気持ちは一つ、出雲高校生の活躍をみんなでお祈り、応援しています。選手の皆さん、悔いだけは残さず、精一杯の自己表現、パフォーマンスの発揮を期待しています。健闘を祈ります。頑張ってください。

以上です。